



2013～14 年度
国際ロータリー会長

Ron D. Burton

Weekly Report Niigata



2013～14 年度
新潟ロータリー会長

山本 正治



ロータリーを 実践し みんなに豊かな人生を

2013～14 年度 国際ロータリーのテーマ

新潟 RC 6 月第 3 例会 (2014.6.17) No.3044

(1) ロータリーソング「我らの生業」斉唱

(2) 山本 正治会長挨拶

ロータリー年度は 7 月に始まり 6 月に終わります。私にとって今月は最後の月となります。いわゆる年度末ですので、これからのロータリークラブ活動がどのようなになっていくか、本音で話してみたいと思います。

私は医師として、またロータリアンとして、いま気になっていることを 3 つ上げてみました。一つ目は日本人の減少です。2006 (平成 18) 年から減少に転じました。40 年後 (2050 年頃) には約 3800 万人の減少、そして人口の約 45% が 65 歳以上となると予想されています。二つ目は日本の経済がまだまだ良くないことに加えて、2011 (平成 23) 年の東日本大震災以降、地震の再発や放射能汚染の恐怖で、社会全体が抑うつ状態に陥っていることです。

三つ目はロータリークラブの会員数が減少していることです。1996 (平成 8) 年の約 13 万人をピークとして、2012 (平成 24) 年は約 8 万 8 千人で、16 年間に約 4 万人が退会しました。私の計算で会員数が半数になるのは 2018 (平成 30) 年、ゼロになるのは 30 年後の 2040 (平成 52) 年と予測しています。

次にロータリークラブに限定して、これから起こることを予測してみます。私は二つ上げました。一つ目は、職業奉仕を中心とするロータリーの原点に戻ること、二つ目は、会員減少に伴い、ロータリークラブは二分化されることです。

1. 職業奉仕を中心とするロータリーの原点に戻るようになる。

ロータリークラブの原点は職業奉仕や社会奉仕にあったはずですが、最近の国際ロータリーやロータリー財団は、私たちの身近にある奉仕から国際奉仕へシフトしました。何故かと言いますと、昨年、ロータリー財団は未来の夢計画の中で国際奉仕を重点化しました。グローバル補助金プログラムとして六つの重点分野を策定し、資金の最大 75% を充てました。地域社会の奉仕活動を支援する地区補助金は財団寄付総額の 25% に過ぎません。

しかし日本においては会員減少や高齢化が進み、さらに

グローバル補助金の使いづらさや相当専門的なノウハウを必要とすることが加わり、わが国ロータリークラブの国際奉仕活動への参加は今後一層困難になることを恐れます。

それでは海外に出かけて行う国際奉仕より、社会奉仕や職業奉仕が中心となるのでしょうか。ここで社会奉仕と職業奉仕を分けて考えてみますと、社会奉仕についてはいろいろなボランティア団体が既に活躍しており、ロータリーが後塵を拝する必要はありません。そうすると職業奉仕のみが独自性を発揮できるものとなります。まさにこのことはロータリーの原点に戻ることになると予想します。

2. 会員減少に伴い、ロータリークラブは二分化する。

経済不況によって会社の経費節減のため、ロータリークラブの会費も対象になっています。RI の方針変更と国内問題が複合して、会員数は今後も減少傾向をたどると思われる。これに伴い日本のロータリークラブは二分化すると予想します。

ロータリー活動の動機づけを、私は心理学者・マズローの欲求段階説で以前説明しました。ここでマズローの欲求段階説の説明は省略させていただきますが、私は「承認の欲求満足型のロータリークラブ」になるか、「自己実現の欲求満足型のロータリークラブ」になるかの二通りに分かると予想しています。承認の欲求満足型とは、他人から自分の存在や価値を認めてもらいたいと願うロータリアンが集うクラブです。自己実現満足型とは、社会的にも功成名遂げ、これからは自分一人の利益や満足だけを求める気持ちを捨てたロータリアンが集うクラブです。それぞれの特徴を配布資料に記載しましたが、この表の中で「重視する標語」をご覧ください。承認欲求型は「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」を、自己実現型は「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」を重視するはずですが。

最後のまとめをします。会員減少、高齢化、経済不況、国際ロータリーやロータリー財団の方針転換の時代を生き抜くには、私は、「承認の欲求満足型のロータリークラブ」になることだと思います。別の言葉で表現すれば、職業奉仕を中心とし、かつロータリーファミリーとしての親睦を大事にするロータリー活動、即ちロータリーの原点に戻ることにあると思います。

(3) ゲストの紹介

- ・新潟家庭少年友の会 総務部長 梅沢守さん
- ・NPO 法人子ども・人権ネット CAP・にいがた
石附 幸子さん

(4) ビジターの紹介

大坂RC会員、銭高一善君（大阪RC）

(5) 新会員の紹介



株式会社新潟三越伊勢丹
代表取締役社長
東海林 憲 昭
親睦委員

初めてのロータリー入会が、歴史と伝統ある新潟ロータリークラブに入会させて頂く事となり、大変光栄に思っております。私は、新潟に赴任して今年で5年目を迎えますが、まだまだ新潟の素晴らしさを把握できておらず、その素晴らしさを全国に伝え切れていないと反省致しております。今回、ロータリーの活動をするにあたり、目的である「奉仕の理想」をもって、新潟の素晴らしさを全国に向けて発信すべく、努めて参りたいと思います。大変緊張していると同時に、非常に楽しみでもあります。今後とも皆様のご指導、ご鞭撻の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

(6) 青少年育成基金贈呈式

塚田正幸青少年奉仕委員長経緯説明・ご紹介
2団体へ、それぞれ12万円を贈呈

- ・新潟家庭少年友の会
- ・NPO 法人子ども・人権ネット CAP・にいがた



(7) 各種ご寄付の発表

青少年育成基金寄付発表(柴田 史郎委員長)
徳永 昭輝君

(8) ニコニコボックス紹介(金親 顯男副委員長)

・坂井 賢一君 インドに行っておりましたが、病気にもならず、仕事出来る、感謝と今日の話にお付き合いいただきありがとうございました。

・伊原 健至君 誕生日のお祝いありがとうございます。

・徳永 昭輝君 今日は、CAP新潟の活動に対して青少年育成基金より多額な援助がされたことに対して心から感謝申し上げます。石附幸子さんが出席されていますが、皆さん手弁当で地道な活動に取り組んでおられ、産婦人科医会としても「望まない妊娠」を契機に、乳幼児虐待が行われている現実に対していろいろな取り組みをしていますが、これからもNPO、CAP新潟はじめ各種団体と協力して虐待防止に向けた活動をしていきたいと考えています。CAPの活動が評価されニコニコさせていただきます。

(9) 会員スピーチ「インドの葬儀事情」

株式会社ビップ 代表取締役副社長 坂井 賢一君

(10) 本日の出席率 69.23 %

(2週間前メーク後 90.11 %)

6月24日の例会予定

納会夜例会 18:30～ 鍋茶屋

新潟ロータリークラブ会員専用ホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>

会員専用ページログイン情報

ユーザーID niigata

パスワード rcrerc